

河川整備による利用者の行動と意識の変化に関する研究

熊本大学工学部 学生会員 ○小野祐樹
熊本大学工学部 正会員 増山晃太

熊本大学大学院 正会員 星野裕司
熊本大学大学院 学生会員 尾野薫

1. はじめに

1.1 背景

近年、都市の高密度化において、都市内の緑地や自然空間の重要性が増している。その中でも河川空間は治水・利水機能だけではなく、散歩や回遊、余暇を過ごすための貴重な自然空間として注目されている。この河川空間の整備については1997年の河川法改正で川づくりの目的に「環境」という項目が追加されたことや地域の意見を反映した河川整備の計画制度の導入により、住民の活動を考慮したものへと変化している。

熊本県の白川では2002年に策定された白川水系河川整備計画に基づき、流域全体で河川整備が行われている。大甲橋～明午橋の間の区間（以下、緑の区間とする）については白川水系河川整備計画の中で、同区間特有の環境に配慮した整備方法や整備手順、整備上の留意点が特記され、両岸の樹木等の保全や景観、利活用に配慮された河川整備が行われてきた。そこで、このような河川整備が与える影響について確かめていく。

1.2 目的

1) 段階的な河川整備が行われている緑の区間において、周辺住民の行動や意識にどのような変化が生じているのかを明らかにする。

2) 行動と意識の変化の関係を分析・考察することで今後の河川整備に対する一助を得ることを目的とする。

2. 調査方法

2.1 調査概要

本研究では2002年から河川整備が行われている緑の区間を対象に調査を行う。対象者は河川整備前後を知っている白川周辺住民に限定する。

2.2 調査対象地

緑の区間を普段から利用していると考えられる地区（水通町・新屋敷・九品寺）を調査対象地として設定した。（図1）

2.3 調査内容

プレ調査として、緑の区間の両岸を利用している人にカウント調査・ヒアリング調査を、周辺住民に対してアンケート調査を行う。

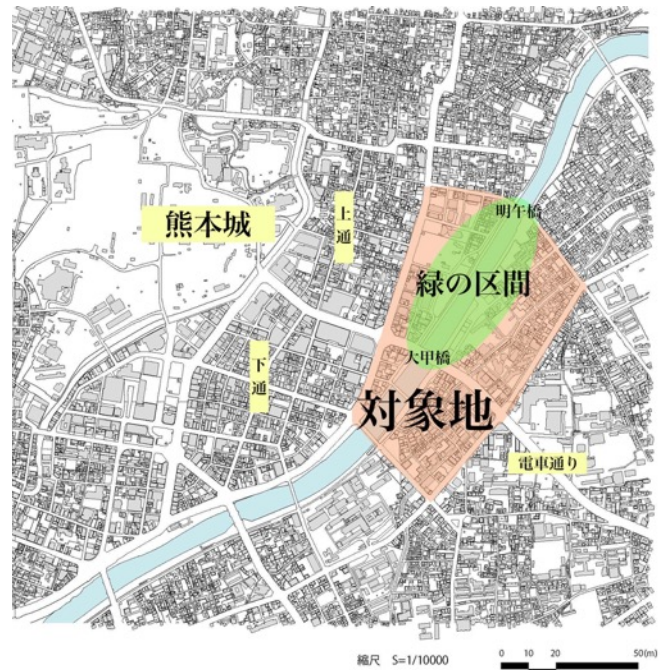


図1.調査対象地

2.3.1 プレ調査

緑の区間両岸において、（ゲート）カウント調査を7日間に分けて行った。ヒアリング調査の調査日時、調査内容等の詳細は表1に示す。

表1. ヒアリング調査内容

調査日時	10月20日(火)15:45~17:15【晴れ】 10月21日(水)08:45~09:45【晴れ】 12:00~13:00（左岸）
調査内容	1. 基本属性 「性別」「年齢」「服装」「同伴者」「住居エリア」 2. 利用行動特性 「利用場所」「利用目的」「利用頻度」「お気に入りの時間」「整備前の利用」 3. 利用意識 「満足度」「日々の変化の気づき」「整備前後で変わった意識・行動」「2012年の水害について」 4. 散歩経路 「散歩経路」「お気に入りの場所」

2.3.2 アンケート調査

緑の区間周辺に住んでいる住民に対してアンケート調査を行う。「白川河川整備について緑の区間（大甲橋～明午橋）に関するアンケート」と伝え、白川の利用行動について具体的な内容を記入してもらう。調査期間や調査項目等の詳細は表2に示す。

また、調査に関して①場所の変化が人の暮らしへ与える影響②行動は散歩などの基本的なものだけではなくもっと多様な広がりや価値を持っているのではないかと考え、アンケートを設計した。（図2）

表2. アンケート調査内容

調査期間	1月10日～1月24日（仮）
調査項目	1. 基本属性 「性別」「年齢」「職業」 「住居エリア」 2. 利用行動特性 「利用場所」「利用時間」「利用目的」 「利用頻度」「利用時間帯」 3. 利用行動変化 「健康意識」「生活意識」「環境意識」 「防災意識」「交流意識」 4. 心理的距離 「印象」「要望」

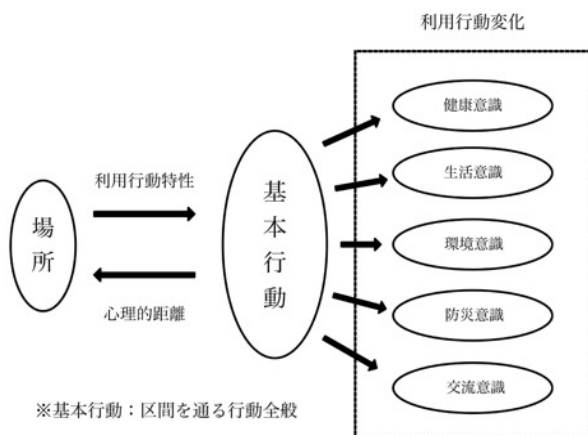


図2.概念図

2.4 調査結果

プレ調査内のヒアリング調査では12グループから回答を得た。プレ調査のカウント調査・ヒアリング調査の結果を表3に示す。

表3. プレ調査結果内容

カウント調査	・30分に平均7人程度の利用されている ・主な利用形態は散歩やランニング ・右岸に関しては自転車の利用者が多い
ヒアリング調査 (プレ調査)	・整備前には利用していなかったが整備後頻繁に利用するようになった（6グループ） →行動の変化 ・たまたま良い場所を見つけたので立ち寄った（4グループ） →認知による意識の変化

3. 分析

河川整備による周辺住人への影響を調査するにあたって、本研究では「行動から意識とその関係性」に注目して分析する。

アンケート調査で5項目の行動変化に関する質問を行い、共通項や相違点を探る。

4. おわりに

今回はプレ調査と今後の調査過程を設計した。今後は、周辺住民へのアンケート調査を行い、意識と行動の変化の関係性を分析していく。

【参考文献】

- 1) 吉田幸平：都市内河川周辺における散歩行動に関する研究；平成22年度修士論文
- 2) 上口雄太郎：白川市街地部景観整備の検討・実現プロセス；平成26年度修士論文
- 3) 牧大佑・吉武哲信・出口近士・外井哲士：散歩に適した空間整備がなされた地区における散歩行動の実態と散歩経路変化に関する研究；日本都市計画学会 都市計画論文集 No.43-3 2008年10月
- 4) 外井哲士・坂本紘二・井上信昭・中村宏・根本敏則：散歩経路の道路特性に関する分析；土木計画学研究・論文集 No.14 1997年9月
- 5) 外井哲士・坂本紘二・白泰晃：都市部における散歩行動特性に関する研究；土木計画学研究・論文集 No.16 1999年9月